

事業プロセスの内部監査チェックリスト

該当する事業プロセス

- 全 : 下記の全てのプロセス共通の質問
- 営業 : 営業プロセスでの質問
- 設計 : 設計プロセスでの質問
- 購買 : 購買プロセスでの質問
- 製造 : 製造プロセスでの質問
- 設備 : 設備管理プロセスでの質問

2017.3.25 作成版

監査 No	内部監査チェックリスト	承認	作成
チェックリスト No			
発行: 年 月 日	被監査プロセス: 事業プロセス		
監査員:	被監査者: 事業プロセスの責任者		

ISO14001:2015 規格 要求事項 ● 確認のポイント 青字 : 付属書 SL による追加要求事項 下線 : 旧規格及びSLに対する技術的な追加変更箇所	該当 プロ セス	No	質問事項	評価	備考

監査 No	内部監査チェックリスト	承認	作成
チェックリスト No			
発行: 年 月 日	被監査プロセス: 事業プロセス		
監査員:	被監査者: 事業プロセスの責任者		

ISO14001:2015 規格 要求事項 確認のポイント 青字 : 付属書 SL による追加要求事項 下線 : 旧規格及び SL に対する技術的な追加変更箇所	該当 プロ セス	No	質問事項	評価	備考
			前回の指摘事項は何ですか		
目標の設定と計画					
5.2 環境方針 トップマネジメントは、組織の環境マネジメントシステムの定められた適用範囲の中で、次の事項を満たす環境方針を確立し、実施し、維持しなければならない。 a) 組織の目的、並びに組織の活動、製品及びサービスの性質、規模及び環境影響を含む組織の状況に対して適切である。 b) 環境目標の設定のための枠組みを示す。 c) 汚染の予防、及び組織の状況に関連するその他の固有なコミットメントを含む、環境保護に対するコミットメントを含む。 <u>注記 環境保護に対するその他の固有なコミットメントには、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を含み得る。</u> d) 組織の順守義務を満たすことへのコミットメントを含む。 e) 環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善へのコミットメントを含む。 環境方針は、次に示す事項を満たさなければならない。 ー 文書化した情報として維持する。 ー 組織内に伝達する。 ー 利害関係者が入手可能である。	全	1	環境方針をご存知ですね。製造部にどの部分に関係しますか。		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>6 計画</p> <p>6.1 リスク及び機会への取組み</p> <p>6.1.1 一般</p> <p>組織は、<u>6.1.1～6.1.4 に規定する要求事項を満たすために必要なプロセスを確立し、実施し、維持しなければならない。</u></p> <p>環境マネジメントシステムの計画を策定するとき、組織は、次の a)～c) を考慮し、</p> <p>a) 4.1 に規定する課題</p> <p>b) 4.2 に規定する要求事項</p> <p>c) 環境マネジメントシステムの適用範囲</p> <p>次の事項のために取り組む必要がある、<u>環境側面 (6.1.2 参照)、順守義務 (6.1.3 参照)、並びに 4.1 及び 4.2 で特定したその他の課題及び要求事項に関連する、リスク及び機会を決定しなければならない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 環境マネジメントシステムが、その意図した成果を達成できるという確信を与える。 - 外部の環境状態が組織に影響を与える可能性を含め、望ましくない影響を防止又は低減する。 - 継続的改善を達成する。 <p>組織は、環境マネジメントシステムの適用範囲の中で、<u>環境影響を与える可能性のあるものを含め、潜在的な緊急事態を決定しなければならない。</u></p> <p>組織は、次に関する<u>文書化した情報を維持しなければならない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 取り組む必要があるリスク及び機会 <p>6.1.1～6.1.4 で必要なプロセスが計画どおりに実施されるという確信をもつために必要な程度の、それらのプロセス</p>	全	1	6.1.1 項で規定する事業上のリスク及び機会で、あなたの部署に関連する事項はありますか。		
<p>6.1.2 環境側面</p> <p>組織は、環境マネジメントシステムの定められた適用範囲の中で、<u>ライフサイクルの視点を考慮し</u>、組織の活動、製品及びサービスについて、組織が<u>管理できる環境側面及び組織が影響を及ぼすことができる環境側面、並びにそれらに伴う環境影響を決定しなければならない。</u></p> <p>環境側面を決定するとき、組織は、次の事項を考慮に入れなければならない。</p> <p>a) <u>変更</u>。これには、計画した又は新規の開発、並びに新規の又は変更された活動、製品及びサービスを含む。</p>	製造設備 営業設備 営業設計 購買	1 2 3 4	<p>環境に有益な影響を及ぼす管理できる環境側面及びその環境影響は何ですか。</p> <p>社内・社外の後工程及び前工程に影響を及ぼすことができる環境側面及びその環境影響は何ですか。</p> <p>ライフサイクル視点を考慮した製品・サービスの環境側面にはどのような項目がありますか。</p> <p>調達先へ影響を及ぼすことができる環境側面にはどのような項目がありますか。</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>b) 非通常の状況及び合理的に予見できる緊急事態</p> <p>組織は、設定した基準を用いて、著しい環境影響を与える又は与える可能性のある側面(すなわち、著しい環境側面)を決定しなければならない。</p> <p>組織は、必要に応じて、組織の種々の階層及び機能において、著しい環境側面を伝達しなければならない。</p> <p>組織は、次に関する文書化した情報を維持しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 環境側面及びそれに伴う環境影響 - 著しい環境側面を決定するために用いた基準 - 著しい環境側面 <p>注記 著しい環境側面は、有害な環境影響(脅威)又は有益な環境影響(機会)に関連するリスク及び機会をもたらし得る。</p>	<p>設計 設備</p> <p>設備</p> <p>全</p>	<p>5</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p>最近、新規の製品開発や設備導入がありましたか、ある場合はその環境側面を見せてください。</p> <p>緊急時、非定常時の著しい環境側面は何ですか。</p> <p>貴方の部署での著しい環境側面のリストを見せてください。</p>		
<p>6.1.3 順守義務</p> <p>組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 組織の環境側面に関する順守義務を決定し、参照する。</p> <p>b) これらの順守義務を組織にどのように適用するかを決定する。</p> <p>c) 環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善するときに、これらの順守義務を考慮に入れる。</p> <p>組織は、順守義務に関する文書化した情報を維持しなければならない。</p> <p>注記 順守義務は、組織に対するリスク及び機会をもたらし得る。</p>	<p>全</p>	<p>1</p>	<p>貴方の部署に適用される順守義務にはどのような項目がありますか。</p>		
<p>6.1.4 取組みの計画策定</p> <p>組織は、次の事項を計画しなければならない。</p> <p>a) 次の事項への取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 著しい環境側面 2) 順守義務 3) 6.1.1 で特定したリスク及び機会 <p>b) 次の事項を行う方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) その取組みの環境マネジメントシステムプロセス(6.2、簡条 7、簡条 8) 	<p>全</p> <p>全</p>	<p>1</p> <p>2</p>	<p>貴方の部署に關係する事業上のリスク及び機会、著しい環境側面、順守義務について、環境目標に織り込んだ項目にはどのような項目がありますか。</p> <p>事業プロセスの運用管理に織り込んだ項目にはどのような項目がありますか。</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p><u>及び9.1参照)又は他の事業プロセスへの統合及び実施</u></p> <p>2) その取組みの有効性の評価(9.1参照)</p> <p><u>これらの取組みを計画するとき、組織は、技術上の選択肢、並びに財務上、運用上及び事業上の要求事項を考慮しなければならない。</u></p>	全	3	<p>リスク及び機会の取組みの有効性を、どのような方法で評価しましたか。</p> <p>9.1 監視、測定及び評価を確認</p>		
<p>6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定</p> <p>6.2.1 環境目標</p> <p>組織は、組織の著しい環境側面及び関連する順守義務を考慮に入れ、かつリスク及び機会を考慮し、関連する機能及び階層において、環境目標を確立しなければならない。</p> <p>環境目標は、次の事項を満たさなければならない。</p> <p>a) 環境方針と整合している。</p> <p>b) (実行可能な場合) 測定可能である。</p> <p>c) 監視する。</p> <p>d) 伝達する。</p> <p>e) 必要に応じて、更新する。</p> <p>組織は、環境目標に関する文書化した情報を維持しなければならない。</p> <p>6.2.2 環境目標を達成するための取組みの計画策定</p> <p>組織は、環境目標をどのように達成するかについて計画するとき、次の事項を決定しなければならない。</p> <p>a) 実施事項</p> <p>b) 必要な資源</p> <p>c) 責任者</p> <p>d) 達成期限</p> <p>e) 結果の評価方法。これには、測定可能な環境目標の達成に向けた進捗を監視するための指標を含む (9.1.1参照)。</p> <p>組織は、環境目標を達成するための取組みを組織の事業プロセスにどのように統合するかについて、考慮しなければならない。</p>	全	1 2 3 4 5 6 7	<p>貴方の部署及びプロセスでの環境目標を見せてください</p> <p>2 リスク及び機会の取組み計画とどう関連していますか。</p> <p>・リスク及び機会の取組み ・・中期的及び年度単位 ・部署の環境目標 ・・年度単位</p> <p>3 目標を設定するに当って、昨年の未達成原因の分析をどのように行いましたか。</p> <p>4 その目標には SMART が織り込まれていますか。</p> <p>S: Significance(著しき、意義) ・・質問 2、6.2.1a)</p> <p>M: Measurable(測定可能) ・・6.2.1b)</p> <p>A: Achievable(達成可能) ・6.2.2a)</p> <p>R: Responsibility(責任) ・・6.2.2c)</p> <p>T: Time frame (期限) ・・6.2.2d)</p> <p>5 目標を組織全体にどのように伝達されていますか。</p> <p>6 必要な資源(人、お金、技術)などは用意されていますか。</p> <p>7 期中での目標達成見込みの監視をどのように計画していますか。どのような指標を設定されていますか。</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
運用・実施					
<p>4.4 環境マネジメントシステム</p> <p>環境パフォーマンスの向上を含む意図した成果を達成するため、組織は、この規格の要求事項に従って、必要なプロセス及びそれらの相互作用を含む、環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、かつ、継続的に改善しなければならない。</p> <p>環境マネジメントシステムを確立し維持するとき、組織は、4.1 及び 4.2 で得た知識を考慮しなければならない。</p>	全	1	環境パフォーマンスを向上するため、順守義務を果たすため及び環境目標を達成するために必要なプロセスには、どんなプロセスがありますか。		
<p>8 運用</p> <p>8.1 運用の計画及び管理</p> <p>組織は、次に示す事項の実施によって、環境マネジメントシステム要求事項を満たすため、並びに 6.1 及び 6.2 で特定した取組みを実施するために必要なプロセスを確立し、実施し、管理し、かつ、維持しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロセスに関する運用基準の設定 - その運用基準に従った、プロセスの管理の実施 <p>注記 管理は、工学的な管理及び手順を含み得る。管理は、<u>優先順位</u>（例えば、除去、代替、<u>管理的な対策</u>）に従って実施されることもあり、また、個別に又は組み合わせて用いられることもある。</p> <p>組織は、計画した変更を管理し、意図しない変更によって生じた結果をレビューし、必要に応じて、有害な影響を緩和する処置をとらなければならない。</p>	全	2	<p>リスク及び機会(6.1)、環境目標及びそれを達成するための計画(6.2)で特定した取組みを実施するために必要なプロセスには、どのようなプロセスがありますか</p> <p>例) 環境目標及び実施計画</p> <p>環境配慮設計</p> <p>外部委託先の管理</p> <p>廃棄、排水設備の管理</p> <p>化学物質の管理</p> <p>順守評価</p> <p>廃棄物の管理</p> <p>緊急事態の準備及び対応</p>		
	全	3	<p>有害な環境影響を管理するとどのような優先順位で検討を行ってきましたか。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除去:例えば、PCBs、CFCs などの使用禁止 ・代替:例えば、溶剤形塗料から水性塗料への変更 ・工学的な管理:例えば、排出管理、軽減技術など ・管理的な対策:例えば、手順、視覚的管理、作業指示書、MSDS 		
	全	4	これらのプロセスでは運用基準が設定されていますか。		
	全	5	必要に応じて、手順書が準備されていますか。		
	全	6	プロセスに意図しない変更が生じた場合は、変更によって生じた結果をレビューし緩和処置を実施していますか。		
	全	7	<p>サイトツアーで管理状態を現場確認する。</p> <p>(最後の頁のチェックリスト参照)</p>		

ISO14001:2015 規格 要求事項	プロセス	No	質問事項	評価	備考
<p>組織は、外部委託したプロセスが管理されている又は影響を及ぼされていることを確実にしなければならない。これらのプロセスに適用される、管理する又は影響を及ぼす方式及び程度は、環境マネジメントシステムの中で定めなければならない。</p> <p>ライフサイクルの視点に従って、組織は、次の事項を行わなければならない。</p> <p>a) 必要に応じて、ライフサイクルの各段階を考慮して、製品又はサービスの設計及び開発プロセスにおいて、環境上の要求事項が取り込まれていることを確実にするために、管理を確立する。</p> <p>b) 必要に応じて、製品及びサービスの調達に関する環境上の要求事項を決定する。</p> <p>c) 請負者を含む外部提供者に対して、関連する環境上の要求事項を伝達する。</p> <p>d) 製品及びサービスの輸送又は配送（提供）、使用、使用後の処理及び最終処分に伴う潜在的な著しい環境影響に関する情報を提供する必要性について考慮する。</p> <p>組織は、プロセスが計画どおりに実施されたという確信をもつために必要な程度の、文書化した情報を維持しなければならない。</p>	購買	8	<p>外部委託したプロセスにどのように影響を及ぼしていますか。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 や EA21 の奨励 ・グリーン調達 ・委託契約の環境配慮を含める 		
	設計	9	ライフサイクル視点に従って、環境配慮設計を行った事例を見せてください。		
	購買	10	製品・物品のグリーン調達の基準及び実施事例を見せてください。		
	購買	11	外部の請負先に対して環境上の要求事項を伝達した事例を見せてください。		
	製造	12	産業廃棄物の委託契約書の内容を見せてください。		
<p>7.1 資源</p> <p>組織は、環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び継続的改善に必要な資源を決定し、提供しなければならない。</p> <p>附属書 A.7.1 抜粋</p> <p>資源には、人的資源、天然資源、インフラストラクチャ、技術及び資金が含まれる。人的資源の例には、専門的な技能及び知識が含まれる。インフラストラクチャの資源の例には、組織の建物、設備、地下タンク及び排水システムが含まれる。</p>	営業	13	製品の配送に当たって環境に配慮した荷姿・梱包に関する要請を行っていますか。		
	全	14	運用プロセス計画どおりに実施されたことを示す文書には、どのような文書がありますか。		
<p>7.1 資源</p> <p>組織は、環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び継続的改善に必要な資源を決定し、提供しなければならない。</p> <p>附属書 A.7.1 抜粋</p> <p>資源には、人的資源、天然資源、インフラストラクチャ、技術及び資金が含まれる。人的資源の例には、専門的な技能及び知識が含まれる。インフラストラクチャの資源の例には、組織の建物、設備、地下タンク及び排水システムが含まれる。</p>	設備	1	<p>EMSに関連するインフラには、どのようなものがありますか。</p> <p>例) 倉庫、除外設備、地下タンク及び排水システム、空調設備、消火設備等</p>		
	設備	2	それらのインフラの日常点検、定期点検の記録を見せてください。		

以下

チェックリスト省略

サイトツアーのチェックリスト例（運用管理の状況の確認）

	項目	評価	コメント
1	敷地境界		
	敷地境界線		
	敷地外 病院・保育園・住宅等あるか		
	境界線における騒音・振動・ 悪臭・光の状態の確認		
	近隣住民への影響緩和		
	外回り・排水経路		
	分離槽の管理		
	吸着マットの設置		
2	敷地内外回り		
	車両・機材の管理		
	洗車		
	灯油等保管の堰の管理		
	原材料		
	産廃置場 分別・表示		
	緑化（敷地：9,000m2、 建築物 3,000m2 以上の場合）		
3	倉庫、工場内		
	5 S		
	危険物・毒物の保管		
	化学物質の保管		
	廃棄物の分別		
	騒音（コンプレッサ、洗車機等）		
	騒音（鍛圧機械等）		
	使用機械の保安全管理		
	ボイラーの排気管理		
	塗装施設の管理		
	水質浄化施設の排水管理		
	消火栓・消火器		
4	事務所・店舗		
	節電（消灯、LED化、デマンド等）		
	紙の使用量管理		
	グリーン購入		
	環境配慮製品の販売		
	パッケージエアコンのフロンの点検		
	エコドライブの管理		